

17. ため池改修工事

17-1 堤体工

(1) まき出し状況



撮影方法

- 使用機械やまき出し材料がわかるように撮影する。
- まき出し状況がわかるように工夫して撮影する。

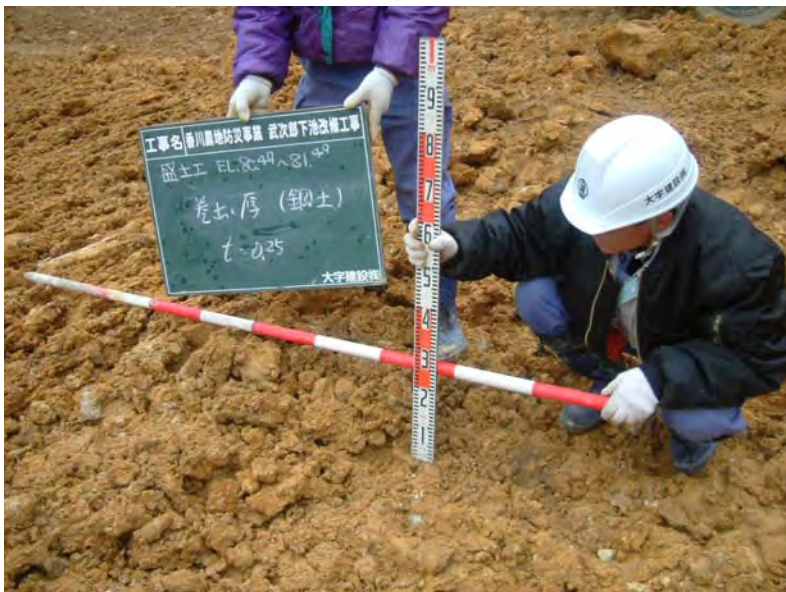
黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容
- 使用材料の仕様
- 使用機械名を記入する。

留意事項

- まき出し機械(規格)がわかるようなアングルで撮影する。
- 施工幅がわかるように丁張り等を設置する。

(2) まき出し厚さの確認状況



撮影方法

- スタッフやポールを用い、一層のまき出し厚さが確認できるように撮影する。
- 使用機械を入れ、作業全体がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- まき出し材料・まき出し機械名を記入する。

留意事項

- 上下の層がわかりにくいので、標示杭等で標示する。
- 前後の連続性が確認できるカメラアングルで撮影する。

17-1 堤体工

(3) 転圧状況



撮影方法

- 使用機械はもちろんのこと、作業状況がわかるように撮影する。
- 転圧状況や仕上がり面が確認できるように工夫して撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容
- 使用機械名
- 転圧層数・転圧高を記入する。

留意事項

- 黒板が手前に置いてあるので、記入内容が分かりやすい。
- 転圧前後の状況がわかるように撮影する。

(4) 盛土幅員の確認状況



撮影方法

- 出来形寸法とともに、背後の状況が確認できるように撮影する。
- リボンロッドを使用する場合は、たるませないように張力を加える。
- 測定範囲がわかるように、起終点にポールを使用する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測点
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 断面略図を記入する。

留意事項

- リボンロッドを立てて、目盛りが見やすい。
- ポールで測定範囲をわかりやすくしている。
- 極力撮影対象に近づいて撮影する。

17-2 洪水吐工

(1) 床掘の出来形確認状況



撮影方法

- 出来形寸法が確認できるアングルで撮影する。
- 測定箇所の子終点がわかるように、リボンロッドを用いて撮影する。

黒板記入内容

- 工事名 ■工種及び種別
- 測定位置（測点）
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 断面略図を記入し、測定箇所を表示する。



留意事項

- 床付面にマーキングがあるため施工位置が特定できる。
- リボンロッドに張力を加え、たるませないようにする。
- リボンロッドを立てて、目盛りが見えるようにする。
- 黒板を手前に置いて、記入内容がわかるようにする。

17-2 洪水吐工

(2) 配筋確認状況 (かぶり)



- 撮影方法
- 配筋の状況がわかるように撮影する。
 - かぶり厚さが確認できるアングルで撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置 (測点)
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法を記入する。

留意事項

△スタッフの目盛が判別できるアップも撮影する。

(3) 出来形確認状況



- 撮影方法
- 形状寸法はもちろんのこと、背後の状況も確認できるように撮影する。
 - リボンロッドを使用する場合は、たるませないように張力を加えて撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 構造物の略図を記入し、測定箇所を記入する。

留意事項

□スタッフに水平器を当てて、垂直になるように工夫している。

- 底盤部のスタッフが傾いている。
- 測定箇所に関係ないリボンロッドは外す。
- ピンポールなどをあてる。

17-3 樋管工・同左付帯構造物（土砂吐ゲート等）

（1）床掘の出来形確認状況



撮影方法

- 出来形寸法が確認できるアングルで撮影する。
- 測定箇所（測点）の起終点がわかるように、リボンロッドを用いて撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置（測点）
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 断面略図を記入し、測定箇所を表示する。

留意事項

- リボンロッドに張力を加え、たるまないようにしている。
- リボンロッドをたてて、目盛がわかるようにする。
- 極力撮影対象に近接して撮影する。
- 測定箇所に関係ないリボンロッドは外す。

（2）配筋確認状況



撮影方法

- 配筋の状況がわかるように撮影する。
- 鉄筋間隔等がわかるように撮影する。

黒板記入内容

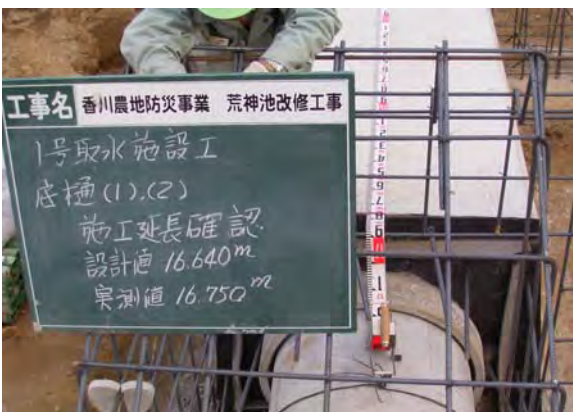
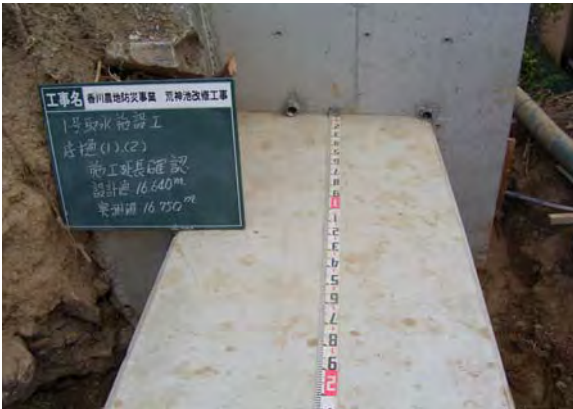
- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 鉄筋径・間隔を記入する。

留意事項

- 鉄筋が区別できるようにマーキングしている。
- 測定箇所に関係ないリボンロッドは外す。

17-3 樋管工・同左付帯構造物（土砂吐ゲート等）

（3）延長の測定状況



撮影方法

- 出来形寸法が確認できるアングルで撮影する。
- 測定箇所の起終点がわかるように、リボンロッド等を用いて撮影する。
- 連続写真とするとときは、連続性が確認できるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法を記入する。

留意事項

- 一定の間隔でマーキングをしておくこと、連続性が確認しやすい。